

2012年度連結決算(米国会計基準)及び2013年度業績予想(国際会計基準)

(単位:億円)

損益の状況	2012年度実績	2011年度実績	前年度比		2013年度業績予想(*4) 【国際会計基準】		2012年度対比
			増減率(%)				
売上高(*1)	105,091	105,844	▲753	▲1%	137,000	31,909	
売上総利益	5,282	5,415	▲133	▲2%	6,500	1,218	
販売費及び一般管理費	▲4,034	▲3,830	▲204	-	▲4,700	-	
貸倒引当金繰入額	▲19	▲12	▲7	-	▲50	-	
営業利益(*1)	1,229	1,573	▲344	▲22%	1,750	521	
支払利息(受取利息控除後)	▲159	▲178	19	-	▲300	-	
受取配当金	301	274	28	-	250	-	
有価証券損益	289	138	152	-	100	-	
固定資産損益	▲286	▲77	▲209	-			
その他の損益	223	66	157	-			
持分法による投資損益	878	815	63	-	1,000	-	
税引前利益	2,475	2,610	▲134	▲5%	2,800	325	
法人税等	▲386	▲839	454	-	▲650	-	
非支配持分帰属損益前純利益	2,090	1,770	320	18%	2,150	60	
非支配持分帰属損益	▲33	▲49	16	-	▲50	-	
当社株主に帰属する当期純利益	2,057	1,721	336	20%	2,100	43	
収 益	48,613	43,904	4,710	11%			
実態営業利益(*2)	1,248	1,585	▲337	▲21%	1,800	552	
基礎収益(*3)	2,268	2,496	▲228	▲9%	2,750	482	

(*1) 売上高及び営業利益は、日本の投資家の便宜を考慮して、日本の会計慣行に基づいて表示しております。
 (*2) 実態営業利益=売上総利益+販売費及び一般管理費
 (*3) 基礎収益=実態営業利益+支払利息(受取利息控除後)+受取配当金+持分法による投資損益
 (*4) 当社は、2013年度第1四半期の連結財務諸表より、米国会計基準に替えて国際会計基準(IFRS)にて開示することとしており、2013年度業績予想はIFRSに基づき作成しております。

資産、負債及び純資産の状況	2013年3月末	2012年3月末	前年度末比	2014年3月末予想 【国際会計基準】
連結総資産	59,651	51,299	8,352	-
(流動資産)	(30,627)	(26,439)	(4,188)	-
(固定資産等)	(29,024)	(24,860)	(4,164)	-
連結純資産	11,884	9,158	2,726	14,000程度
連結有利子負債	27,370	24,830	2,540	-
連結ネット有利子負債	17,852	17,557	295	26,000程度
ネットDEレシオ(*5)	1.50倍	1.92倍	▲0.42ポイント	1.8倍程度

(*5) ネットDEレシオ=連結ネット有利子負債/連結純資産

キャッシュ・フローの状況	2012年度実績	2011年度実績	主要指標の推移	2012年度実績	2011年度実績	変動幅 (変動率)	2013年度前提
営業活動によるCF	2,957	1,726	為替(YEN/US\$) 4月-3月平均	83.10	79.07	4.03円(5%)の円安	95
投資活動によるCF	▲2,109	▲2,737	1月-12月平均	79.82	79.83	0.01円(0%)の円高	
フリーキャッシュ・フロー	849	▲1,011	JPY TIBOR(%) 4月-3月平均	0.317	0.338	0.021%(6%)の低下	0.2
財務活動によるCF	1,290	1,719	US\$ LIBOR(%) 1月-12月平均	0.430	0.337	0.093%(28%)の上昇	0.4
為替変動の影響	283	▲95	WTI(ドル/バレル) 1月-12月平均	94	95	1ドル(1%)の下落	95
現金及び現金同等物の増減	2,422	613	LME銅(ドル/トン) 1月-12月平均	7,950	8,811	861ドル(10%)の下落	7,400

連結対象会社 黒字/赤字の状況	2012年度実績			2011年度実績			前年度比		
	国内	海外		国内	海外		国内	海外	
黒字会社数	351	116	235	342	117	225	9	▲1	10
黒字会社額	2,282	609	1,673	2,210	533	1,677	72	76	▲4
赤字会社数	91	25	66	88	25	63	3	0	3
赤字会社額	▲485	▲89	▲396	▲302	▲94	▲208	▲183	4	▲188
会社数合計	442	141	301	430	142	288	12	▲1	13
ネット損益	1,797	520	1,277	1,908	440	1,468	▲111	80	▲192
黒字会社数比率	79.4%	82.3%	78.1%	79.5%	82.4%	78.1%	▲0.1%	▲0.1%	0.0%

2012年度連結決算の概要

【連結決算の概要】

- 当連結会計年度の当社株主に帰属する当期純利益は、輸送機、電力・インフラセグメントの増益を主因に、前年度比336億円(20%)増益の2,057億円となり、史上最高益を更新した。
- 連結純資産は、利益の積み上げ及び外貨換算調整勘定の改善を主因として、前年度末比2,726億円増加の1兆1,884億円となった。
- 連結ネット有利子負債は、前年度末比295億円増加の1兆7,852億円となり、この結果、ネットDEレシオは前年度末比0.42ポイント改善の1.50倍となった。
- 2012年度の年間配当金は、当社株主に帰属する当期純利益が2,057億円となったことから、連結配当性向20%以上とする配当方針に基づき、24円(中間配当金12円実施済み、期末配当金12円)とする予定。

【損益の状況】

①売上高・・・10兆5,091億円

穀物及び石油トレーディング等で増収となったものの、エネルギー・化学プラント案件及び船舶関連取引等の減収により、前年度比753億円の減収となった。円安の影響は1,600億円程度の増収。主な減収・増収セグメントは以下の通り。

減収:プラント・産業機械(▲3,339億円)、輸送機(▲1,774億円)
 増収:食料(+2,600億円)、エネルギー(+2,066億円)

②売上総利益・・・5,282億円

前年度比133億円の減益となった。円安の影響は30億円程度の増益。下表参照。

③販売費及び一般管理費・・・▲4,034億円

人件費を中心に前年度比204億円の増加となった。

④貸倒引当金繰入額・・・▲19億円

前年度比7億円の増加となった。

⑤支払利息(受取利息控除後)・・・▲159億円

前年度比19億円の改善となった。

⑥受取配当金・・・301億円

エネルギー案件を中心に前年度比28億円の増加となった。

⑦有価証券損益・・・289億円

有価証券売却益の影響により、前年度比152億円の増益となった。
 ・有価証券売却損益 502億円(前年度比 +266億円)
 ・有価証券評価損 ▲212億円(前年度比 ▲115億円)

⑧固定資産損益・・・▲286億円

固定資産評価損の影響により、前年度比209億円の悪化となった。
 ・固定資産売却損益 8億円(前年度比 ▲3億円)
 ・固定資産評価損 ▲294億円(前年度比 ▲206億円)

⑨その他の損益・・・223億円

為替差損益等の改善等により、前年度比157億円の増益となった。

⑩持分法による投資損益・・・878億円

持分法による投資損益は前年度比63億円の増益となった。主な内訳は以下の通り。
 チリ銅事業 177億円(前年度比 ▲15億円)
 伊藤忠丸紅鉄鋼 128億円(前年度比 ▲1億円)
 JELLINBAH GROUP 59億円(前年度比 ▲50億円)

オペレーティング・セグメントの状況	売上総利益			当社株主に帰属する当期純利益			主な増減要因
	2012年度	2011年度	増減	2012年度	2011年度	増減	
食料	994	1,000	▲6	171	140	31	食糧関連事業の減益等の影響による売上総利益の減益に加え、流通関連株式の評価損があったものの、為替差損益及び法人税負担の改善等により当期純利益は増益。
ライフスタイル	320	318	3	88	61	27	タイヤ製品の取扱数量増加等による売上総利益の増益に加え、有価証券損益の改善により、当期純利益は増益。
紙パルプ	258	297	▲40	▲0	20	▲20	ムシパルプ事業の採算悪化、紙・板紙製品分野の減益により売上総利益は減益。一方、持分法による投資損益は改善したものの、当期純利益は赤字。
化学品	264	265	▲1	68	75	▲8	電子材料の取扱数量減等による売上総利益の減益に加え、持分法による投資損益の減益により、当期純利益は減益。
エネルギー	523	588	▲65	279	409	▲130	石油・ガス開発分野での減益等による売上総利益の減益に加え、固定資産減損等により、当期純利益は減益。
金属	203	316	▲114	443	493	▲50	鉄鋼原料、軽金属の価格下落等により売上総利益は減益。有価証券損益等による増益があったものの、持分法による投資損益の減益により、当期純利益は減益。
輸送機	480	431	50	218	143	75	建設機械及び農業機械関連事業の新規連結の影響による売上総利益の増益に加え、持分法による投資損益の増益等により、当期純利益は増益。
電力・インフラ	251	377	▲126	269	214	55	海外発電事業の関連会社化の影響で売上総利益は減益となったものの、持分法による投資損益の増益により、当期純利益は増益。
プラント・産業機械	281	282	▲1	87	61	26	産業機械及び繊維機械関連事業の取扱高減少等で売上総利益は減益となったものの、有価証券損益の増益及び為替差損益の改善等により、当期純利益は増益。
金融・物流・情報	440	425	15	93	53	40	金融事業のファンド報酬増等による売上総利益の増益に加え、持分法による投資損益の改善により、当期純利益は増益。
海外支店・現地法人	1,124	1,050	74	198	161	37	米国会社の増益を主因として売上総利益、当期純利益ともに増益。
全社及び消去等	143	65	78	144	▲109	252	開発建設事業の売上総利益の増益に加え、有価証券損益の改善等により、当期純利益は改善。
連結合計	5,282	5,415	▲133	2,057	1,721	336	

2013年度業績予想の概要

- ◎ 2013年度の連結業績予想(当社株主に帰属する当期純利益)は2,100億円の見通し。(国際会計基準)
- ◎ 2013年度の年間配当金は、当社株主に帰属する当期純利益を2,100億円と予想していることから、連結配当性向を20%以上とする配当方針に基づき、25円(内、中間配当金12.5円)とする予定。